

令和4年度第4回 金沢市男女共同参画審議会
事前質問事項及び回答、意見一覧

| 【資料番号・頁】資料1 P3 | | |
|----------------|--|--|
| No. | 質問 | 回答 |
| 1 | <p>パブリックコメント No. 10 に対する市の考え方・回答として、「性別に関係なく制服を選べるよう、学校に配慮するよう伝えています。」とありますが、入学式の説明会時に保護者に制服を選べることを事前に伝えているのでしょうか。小学生で性自認と異なる性の制服を着るのが嫌で中学に行くのを怖がっている子どももいるようです。学校が配慮していることは保護者や生徒にどのように伝えていますか。子どもは自分で制服を選択できることを知っているのでしょうか。</p> | <p>市立工業高等学校や長町中学校では、令和5年度から採用する制服は、「男子用」「女子用」という区別をなくし、「Aタイプ」「Bタイプ」という表示を用いて、性別に関係なく選択できるようにしています。また、校則にある制服に関する記載に「男子用」「女子用」の区別をなくしたり、特別の事情がある場合は申し出るよう明記している学校もあるなど、多くの学校では保護者や児童生徒の申し出により制服の着用について配慮を行っている状況です。</p> |
| 【資料番号・頁】資料2 P6 | | |
| No. | 質問 | 回答 |
| 2 | <p>基本目標Ⅲの参考指標「男女共同参画出前講座の年間実施回数」が3回とあります。どのような講座をどんな人に行ったのでしょうか。講座の回数はもっと増やしたいと考えていますか。どのような講座の需要が高いと考えていますか。</p> | <p>令和3年度は、地域住民を対象とした男女共同参画アドバイザーによる啓発紙芝居、高校生を対象としたジェンダー入門講座、団体の職員を対象としたハラスメント研修を開催しました。今年度は現時点で10回開催しており、次年度以降も同程度開催したいと考えています。</p> <p>令和5年度は新メニューとして、「健康経営」をテーマとした講座を用意しました。働く女性が増加し、その活躍が一層期待される今、企業にとって女性従業員の健康支援は重要な課題であり、従業員の健康管理を経営的な視点で実践していく経営手法を学ぶ機会を提供します。</p> <p>今後も男女共同参画に関する身近でわかりやすい情報から専門的知識に関するメニューまで幅広い講座を用意し、男女共同参画の啓発をしていきます。</p> |
| 【資料番号・頁】資料2 P6 | | |
| No. | 質問 | 回答 |
| 3 | <p>基本目標Ⅲの参考指標「ファミリーサポートセンター活動件数」や「放課後児童クラブの受入数」は目標値や制限数はあるのですか。</p> <p>こうした取り組みはどの程度、子育ての助けになっているのでしょうか。またこの取り組みにお</p> | <p>ファミリーサポートセンターの利用人数や放課後児童クラブの受入児童数については、本市の「かなざわ子育て夢プラン」において令和6年度までの目標値をそれぞれ定めています。</p> <p style="text-align: right;">次ページに続く</p> |

| | | |
|--|-------------------------------------|---|
| | <p>て、運営者の不足など、どのような課題があるのでしょうか。</p> | <p>【参考】</p> <p>ファミリーサポートセンター 6,700件 (R6)</p> <p>放課後児童クラブ受け入れ人数 5,565人 (R6)</p> <p>ファミリーサポートセンター事業は、会員登録した市民同士の子育ての相互援助活動を調整・支援するものであり、依頼会員のご要望に応えられるよう、より多くの提供会員を確保することで、きめ細かなサービスの提供に努めています。</p> <p>放課後児童クラブは、就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、遊びや生活の場を提供することで、子育てと仕事の両立を支援するものであり、運営主体と協力しながら増設等を行い、利用を希望する児童の受入れ確保を図っています。</p> |
|--|-------------------------------------|---|

【資料番号・頁】 資料3-1

| No. | 質問 | 回答 |
|-----|---|---|
| 4 | <p>基本目標 I 方針 1 施策の方向 (1) の施策「企業・団体等への啓発」について、セミナーとはどのような内容ですか。</p> <p>雇用における差別の解消や就業条件の整備など、パワハラやセクハラを防ぐための内容を、団体の代表だけでなく、事業者と社員が合同で学べる環境があると良いと思います。</p> | <p>「企業・団体等への啓発」に係る事業としては、産学官連携のネットワーク組織「かなざわ女性活躍推進会議」を設置し、事業所・関係機関が連携して、女性の多様な働き方を実現できる環境づくりに取り組んでいきます。具体的には、女性活躍公開講演会・交流会の開催を予定しており、テーマについては委員から頂いた意見を参考に、「かなざわ女性活躍推進会議」参加メンバーに諮り、決定します。</p> |

【資料番号・頁】 資料3-2 P79

| No. | 質問 | 回答 |
|-----|--|---|
| 5 | <p>施策番号 21 「再就職のための支援」について、再就職のための支援をすることは大切だと思います。但し、正規労働 5 日間の条件が多く、女性はパートの仕事を選びがちです。再就職において高収入のパートを増やす仕組み作りや副業の推進が必要ではないでしょうか。</p> <p>女性が家庭と両立して再び働きやすい企業を発掘し、応援したり、市役所内で女性の再就職しやすい職務を創設して頂きたいです。</p> | <p>男女の仕事と家庭の両立が進展するよう、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方である「スマートワーク」を導入する企業への支援や取組内容の発信を行っているほか、短時間正社員やフレックスタイム等を導入し積極的に働き方改革を行う企業を「はたらく人にやさしい事業所」として表彰し、企業への普及啓発を行っています。また、副業・兼業についても、企業を対象とした働き方改革セミナーでテーマとして取り上げ、導入の促進と女性が働きやすく活躍できる環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>市役所内での職務につきましては、市役所でも、</p> <p style="text-align: right;">次ページに続く</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | 様々な職務内容や勤務時間を設定して、常勤的会計年度任用職員や非常勤的会計年度任用職員の募集を行っているところです。 |
|--|--|---|

【資料番号・頁】資料3-2 P80

| No. | 質問 | 回答 |
|-----|---|---|
| 6 | <p>方針4「地域社会における男女共同参画の推進」の文中、「男女共同参画を推進する市民団体等の育成や支援に取り組みます。」とありますが、市民団体はボランティアで行うことになりがちです。同様の活動を推進する企業を育てていくことも必要に感じます。企業との連携は視野に入れていませんか。</p> <p>また運営を委託する市民団体とはどのような団体のことでしょうか。</p> | <p>方針2「雇用の分野における男女共同参画の推進」や、方針3「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等の実現」に係る施策において、「かなざわ女性活躍推進会議」と連携しながら事業を展開していくことを予定しています。</p> <p>また、男女共同参画社会づくりに向けた啓発事業の企画運営等を委託する市民団体は「金沢市男女共同参画アドバイザー連絡会」であり、男女共同参画に関する専門研修・勉強会の企画や、出前講座の講師を委託しています。</p> |

【資料番号・頁】資料3-2 P90

| No. | 質問 | 回答 |
|-----|--|---|
| 7 | <p>金沢市はAYA世代[※]の支援は考えていますか。</p> <p>※AYA世代とは、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、主に、思春期（15歳～）から30歳代までの世代を指す。</p> | <p>AYA世代（15歳から39歳までの思春期・若年成人）へのがん検診の推進と、若年者検診の推進周知について、若い頃からがん予防の重要性を認識することは大切であり、本市では、健康づくりイベント等の機会を通じて、若年層への啓発に努めているところです。</p> <p>令和3年度に子宮頸がん検診の受診率が低い20歳から24歳までのすこやか検診の対象者に受診を促すリーフレットを個別送付したところ、受診率の向上が図られたことから、今年度は29歳まで、対象を拡大し、リーフレットの個別送付を行いました。また、集団検診の申し込みについて、今年度からインターネットでも申し込みできるよう利便性を向上させたところです。</p> <p>さらに、女性が、若い頃から自分のからだに関心を持ち、身体の変化を知って生涯を通じた健康づくりの契機となることを目的として「女性の健康サポートBOOK『ビューティフルエイジング』」を作成し、福祉健康センターで配布しています。</p> |

| No. | 質問 | 回答 |
|-----|---|--|
| 8 | <p>アンコンシャスバイアスは男女共に考えていかなければならないと思いますが何気なく使う言葉がいかに当事者や周りに不快になる言動かを周知していく考えがありますか。</p> | <p>「かなざわ未来 奏でプラン 2023」では、「ジェンダー平等の推進」を基本的視点とし、固定的な性別役割分担をはじめとする社会慣行の見直しや、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消により、あらゆる社会活動に皆が平等な立場で参画できることを重視し、施策等を立案します。</p> <p>具体的には、男女共同参画課支援セミナーや出前講座、情報誌など、あらゆる機会を通じて周知啓発をしていきます。</p> |

意見

- ・全体的に子育てと仕事の両立が基本概念として作られているように感じました。子育てに力を入れすぎると、独身者や同性カップルの生きづらさにつながると考えます。またどの項目においても、高齢化が進み親の介護や地域の活動に取り組みやすい環境作りに配慮する意思が感じられる内容になると良いと思いました。また社会への訴え方が障害者との共生に類似しており、障害福祉の分野と合同で説明会を開くなど連携して男女平等を実現して頂きたいです。